

●全国学力学習状況調査(中3)

課題の見られた問題の概要	結果
置った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する	23.3%
上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	39.5%
音の波形を比較し、音の高さが高くなった根拠として、正しいものを選ぶ	36.0%

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
表から、水温45度のときの水の密度を見いだす問題	20.7%
表と図1を関連付けて、地震発生時刻を読み取る問題	22.3%
図1～3と表を関連付けて、ガラスビンの浮き沈みが、メスシリンダーの密度と関連していることを見いだす問題	23.1%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
どの観点も全国、東京都の平均を上回る結果となった。特に思考・判断・表現の観点については平均を大きく上回った。授業における「目標の明確化」「伝え合う学習活動」「目標の振り返り」に重点をおき、少人数による話し合い活動を充実させることで、思考力、判断力、表現力を向上させることができたと考えている。	児童・生徒の学力向上を図るための調査において、「読み解く力に関する内容」の「取り出す力」の項目が都の平均をわずかに下回っている。表から必要な情報を取り出す問題を解くとともに、単位についての理解を深める学習を取り入れる必要がある。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
授業規律が整っており、授業に限らず前向きで熱心に取り組む生徒が多い。授業においては「目標の明確化」「伝え合う学習活動」「目標の振り返り」に重点を置くとともに、デジタル教科書やプロジェクトを使ったICT機器を活用した授業づくりをしていることもあり、生徒のアンケートでは分かりやすいという意見が85%を越えている。	教科として暗記科目的な面があり、興味関心が高い生徒は多くの知識を持っている。理科は生活と密接な関係があり、普段の生活の中にも理科が隠れている驚きを与えたい。そのためにも授業の導入時において、生徒の興味・関心を高められる教材の工夫が必要であると考えている。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	既習事項が身に付いているという点においては、二極化している。身に付いていない生徒も含めて、授業に限らず前向きで意欲的に熱心に取り組む生徒が多く、授業規律は整っている。	授業では、目標の明確化、伝え合う学習活動、目標の振り返りに重点を置き、少人数の話し合い活動を多く取り込んだ授業を実施する。また導入時に単元と生活との関わりについての教材を提示し、興味関心を高める工夫を行う。
2年生	既習事項が身に付いているという点においては、二極化している。身に付いていない生徒も含めて、授業に限らず前向きで意欲的に熱心に取り組む生徒が多く、授業規律は整っている。	授業では、目標の明確化、伝え合う学習活動、目標の振り返りに重点を置き、少人数の話し合い活動を多く取り込んだ授業を実施する。また導入時に単元と生活との関わりについての教材を提示し、興味関心を高める工夫を行う。
3年生	既習事項が身に付いているという点においては、二極化している。身に付いていない生徒も含めて、授業に限らず前向きで意欲的に熱心に取り組む生徒が多く、授業規律は整っている。	授業では、目標の明確化、伝え合う学習活動、目標の振り返りに重点を置き、少人数の話し合い活動を多く取り込んだ授業を実施する。また導入時に単元と生活との関わりについての教材を提示し、興味関心を高める工夫を行う。

●学校全体で取り組む内容

<p>○言語活動の充実を図り科学的思考力、判断力、表現力の向上を図るために以下の内容に取り組む</p> <p>①目標の明確化(疑問を投げかけ予想を立てる、目標の掲示・実験系の表示)</p> <p>②伝え合う学習活動(少人数による話し合い活動(個人の意見、他者との意見交換、思考の再構築))</p> <p>③目標の振り返り(個人発表、グループ発表、確認テスト、自己評価)</p> <p>○生徒の興味関心を高めるために、導入時の教材の工夫を図る</p>
--